



様式第二号の二（第八条の四の五関係）

（表面）

産業廃棄物処理計画書

平成23年 7月26日

大分県知事 広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県竹田市大字拝田原188番地

氏 名 株式会社 松井組

代表取締役 松井 宏 一

電話番号 0974-63-3245

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第7項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、この書面を添えて提出します。

事業場の名称	株式会社 松井組	
事業場の所在地	大分県竹田市大字拝田原188番地	
事業の種類	建設業	
前年度の産業廃棄物発生量	(種類) (発生量)	別紙
本年度の目標	① 業廃棄物発生量	(種類) (発生量) 別紙
	② 自己直接再生利用量	別紙
	③ 自己直接埋立処分又は海洋投入量	別紙
	④ 自己中間処理量	別紙
	⑤ 自己中間処理残さ量	別紙

(日本工業規格A列4番)

(裏面)

⑥自己中間処理後再生利用量	別紙
⑦自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	別紙
⑧直接委託及び自己処理後委託処分量	別紙
※事務処理欄	

備考

- 1 この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の4の5の基準に従って作成した産業廃棄物処理計画に添えて提出すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 4 「前年度の産業廃棄物発生量」の欄には、前年度に当該事業場において生じた産業廃棄物の種類及び種類ごとの発生量を記入すること。
- 5 「本年度の目標」の欄には、当該年度の産業廃棄物処理に関して①～⑧の欄のそれぞれに、(1)から(8)に掲げる量について、その目標量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生ずる産業廃棄物の種類及び種類ごとの発生量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、直接自ら再生利用する量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、直接自ら最終処分場に埋立処分する量及び海洋投入処分する量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理する量
 - (5) ⑤欄 自ら中間処理を行った後の産業廃棄物の量
 - (6) ⑥欄 (5)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却する量
 - (7) ⑦欄 (5)の量のうち、自ら最終処分場に埋立処分する量及び海洋投入処分する量
 - (8) ⑧欄 (1)の量のうち他人に委託して処理する量に、(5)の量のうち他人に委託して処理する量を加えた量
- 6 ※欄には、何も記入しないこと。

前年度産業廃棄物発生量

種類	数量(トン)
廃プラスチック	14.31
金属くず	7.06
ガラス陶器くず	119.96
がれき類	6685.24
木くず	312.76
紙くず	0.63
繊維くず	0
石膏ボード	67.11
建設混合廃棄物	4.17
管理型廃棄物	98.78
合計	7310.02

